

彩木プライベートフェンス A P F 施工手順書

施工の前に本書を熟読し、本書の内容にしてたがってください。

本書では次の様な記号を使用しています。

⚠警告 死亡または重傷を負う可能性が予想される内容です。必ずお守りください。

⚠注意 負傷を負ったり物的損害が発生する可能性が予想される内容です。ご注意ください。

🔍ポイント 取付手順で守っていただかないと取付けが出来ない内容、または製品に不具合が生じる可能性がある内容です。

施工の前に

⚠警告 ●本製品は敷地や隣地との境界を示すことを目的としたフェンスです。高低差のある境界や転落防止を目的とした防護柵、歩行補助を目的とした手摺として使用したり改造は行わないでください。崖上や高台など転落してケガをするおそれのある場所には施工しないでください。誤った使用は、転落や墜落及び思わぬ事故やケガにつながるおそれがあります。

⚠注意 ●施工には専門知識が必要です。必ず専門業者による施工をお願いします。
●正しく取付けるために施工前に必ず本書を熟読し遵守願います。
●施工後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

設置上の注意事項

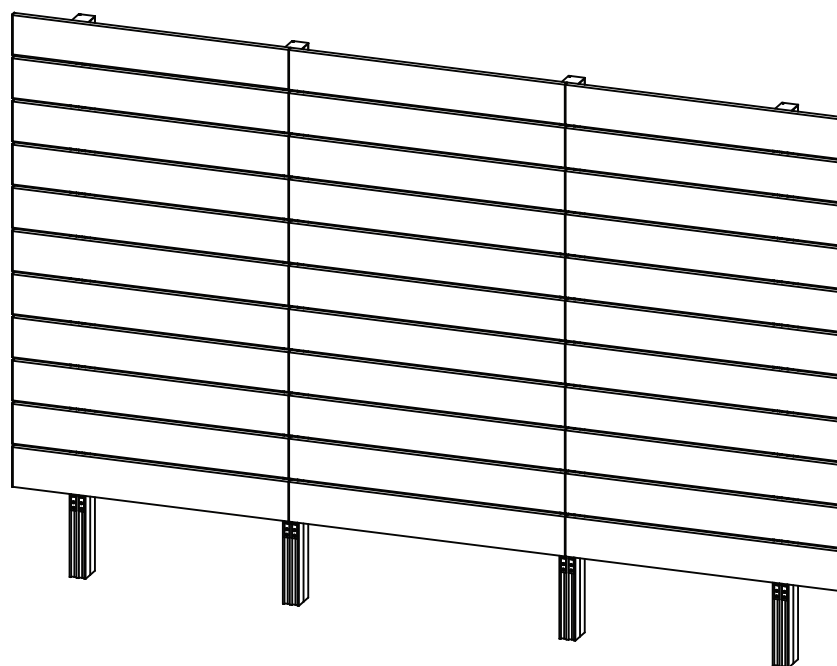
⚠注意 ●屋根などから落雪のおそれがある場所には設置しないでください。
●エアコンの室外機やボイラーなど放熱する機器の付近には設置しないでください。

施工上の注意事項

⚠注意 ●指示してあるネジはすべて確実に締めてください。締結不良は風による破損・飛散事故の原因となります。
●指定の部品及びオプション品以外は使用しないでください。異なるネジや部品を使用すると、強度低下、ゆるみなどにより、製品の落下などの思わぬ事故や不具合につながるおそれがあります。
●コンクリートまたはモルタルには、塩分を含む砂及び塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混合剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。アルミの腐食や製品の破損につながるおそれがあります。
●製品にアルミ部材に銅板や鉄などアルミと異なる金属が接触しないようにしてください。製品の不具合やもらいサビなどの劣化の原因になります。
●製品にコンクリートまたはモルタル等が付着した場合は速やかに拭き取ってください。製品の劣化の原因になります。
●製品にベンジン、シンナー、トルエン等の有機溶剤入りの洗剤は使用しないでください。製品の色落ちの原因になります。
●製品にタワシ、金属製ブラシ、金ペラ等は使用しないでください。製品に傷をつけ劣化の原因になります。
●製品に高温スチーム洗浄機や高圧水噴射洗浄機は使用しないでください。製品の劣化の原因になります。
●施工後、ボルトやネジ類にゆるみやガタつきがないか確認してください。
●基礎には必ず割栗石または、碎石を敷いてください。地盤が不安定になることで、基礎の沈降や傾きにより製品の不具合につながるおそれがあります。

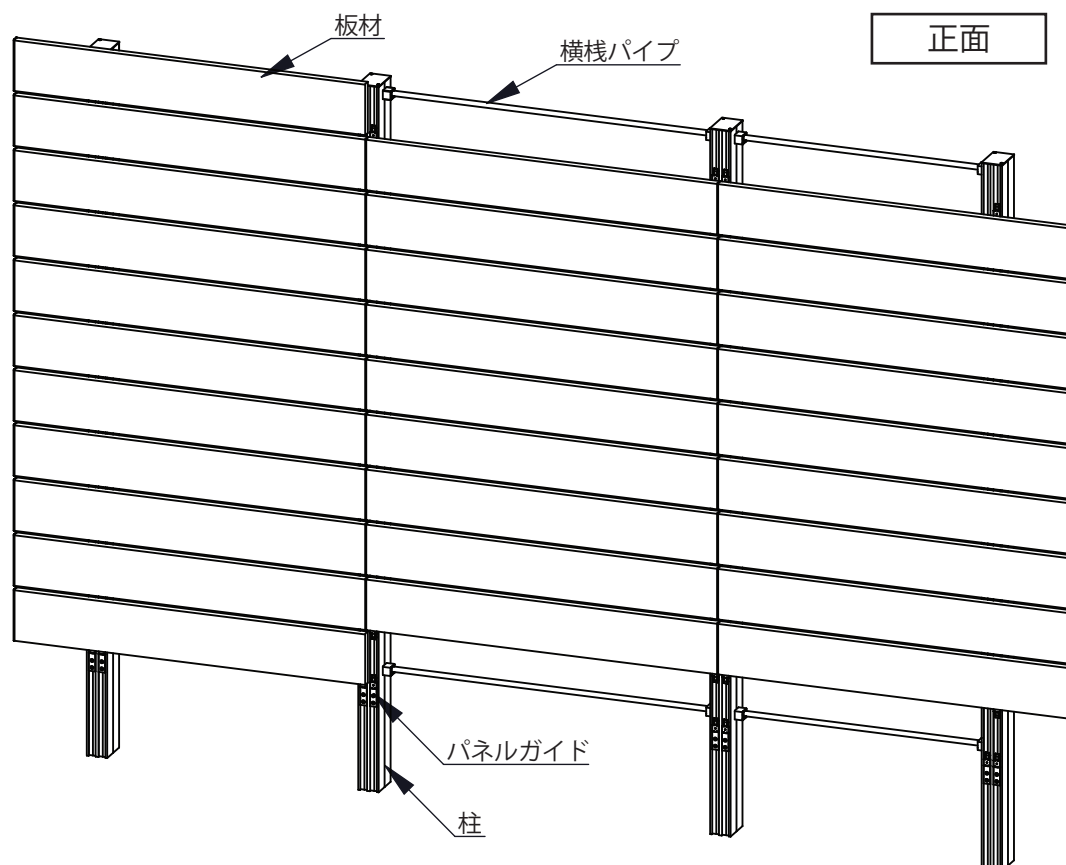
■ 目次

1 全体構成	2
2 梱包内容	3
3 部材の確認	6
4 柱の設置	8
5 板材の取付	14
6 柱キャップの取付	17
7 フリー板材の加工・組付	18
8 基本寸法	22

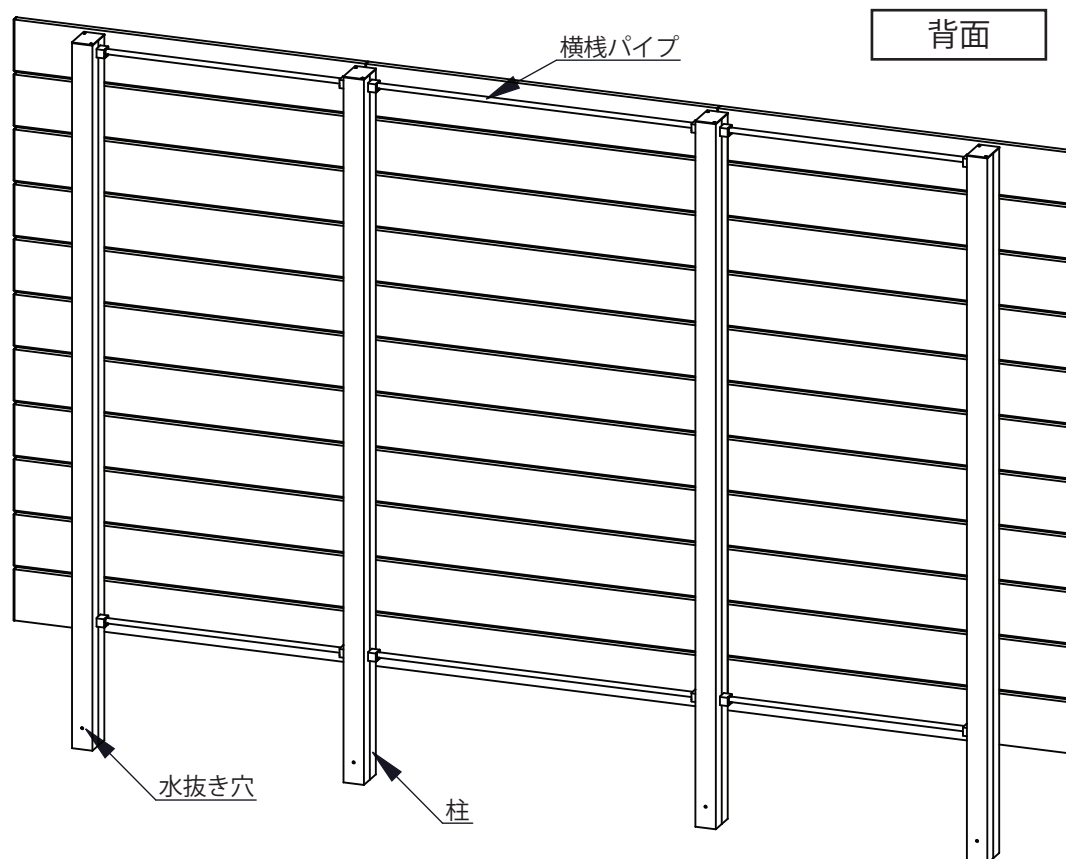


○APF2011

■ 1 全体構成

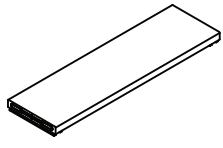
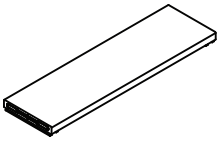


上段と下段の板材を一部取り外しています

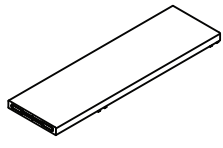
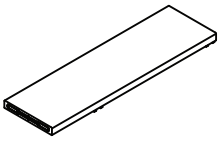


■ 2 梱包内容

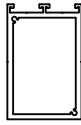
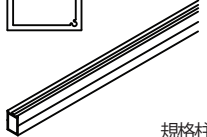
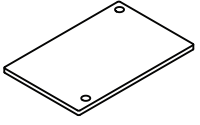
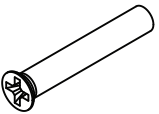
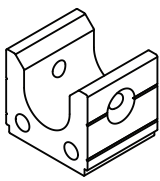
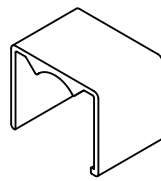
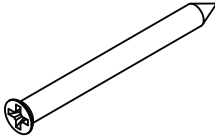
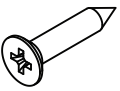
●梱包内容をご確認ください。万が一不足品がございましたら、裏表紙に記載の住所までご連絡ください。

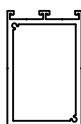
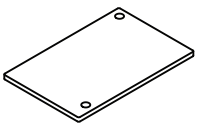
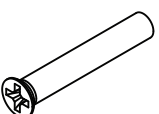
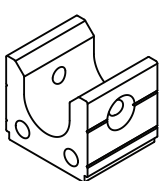
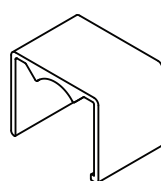
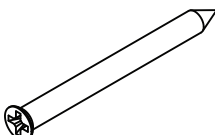
名称	板材(20×145)通常用	板材(20×145)上段用
連結 板材 セット	スライド材付き 	スライド材付き 
		

1スパンにつき1枚
片側小口に端部キャップ付き

名称	板材(20×145)通常用	板材(20×145)上段用
端部 板材 セット	スライド材付き 	スライド材付き 
		

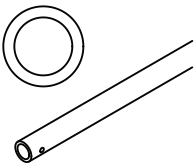
1スパンにつき1枚
片側小口に端部キャップ付き

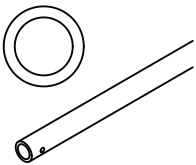
名称	柱材(58×90)	柱キャップ	皿ネジ小頭4×25	横棧ブラケット	横棧カバー
中間柱 セット	  規格柱				
	皿ドリルネジ小頭4×40 	皿ドリルネジ4×16 			

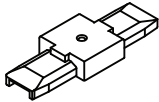
名称	柱材(58×90)	柱キャップ	皿ネジ小頭4×25	横棧ブラケット	横棧カバー
端部柱 セット	  規格柱				
	皿ドリルネジ小頭4×40 	皿ドリルネジ4×16 			

■ 2 梱包内容

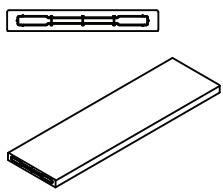
●梱包内容をご確認ください。万が一不足品がございましたら、裏表紙に記載の住所までご連絡ください。

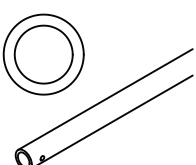
名称	横棧パイプ(中間用)
横棧	 1スパンにつき2本

名称	横棧パイプ(端部用)
横棧	 1スパンにつき2本

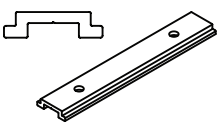
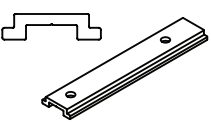
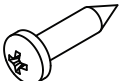
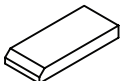
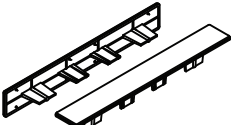
名称	フェンスクサビ	補修塗料
パーツ箱		 傷や彩木切断面等にお使いください 施工後、施主様にお渡しください

●オプション

名称	板材(20×145)
フリー 板材	

名称	横棧パイプ(調整用)
横棧	 1スパンにつき2本

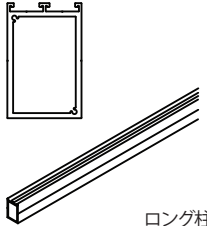
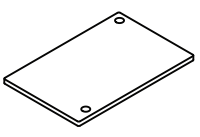
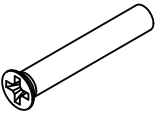
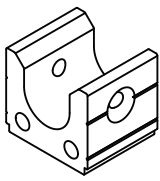
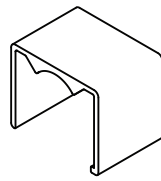
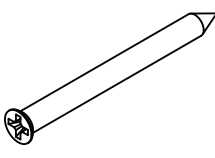
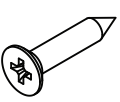
●オプション

名称	スライド材(通常用)	スライド材(上段用)	ナベタッピングネジΦ5×15	ゴムテープ	端部キャップ
フリー 板材 パーツ セット	 穴加工済	 穴加工済			

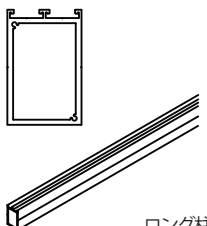
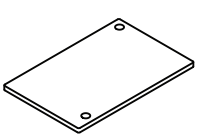
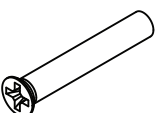
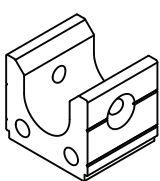
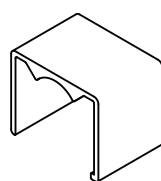
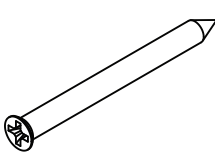
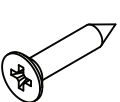
■ 2 梱包内容

●梱包内容をご確認ください。万が一不足品がございましたら、裏表紙記載の住所までご連絡ください。

●オプション

名称	柱材(58×90)	柱キャップ	皿ネジ小頭4×25	横棧ブラケット	横棧カバー
ロング 中間柱 セット	 ロング柱				
	皿ドリルネジ小頭4×40	皿ドリルネジ4×16			
					

●オプション

名称	柱材(58×90)	柱キャップ	皿ネジ小頭4×25	横棧ブラケット	横棧カバー
ロング 端部柱 セット	 ロング柱				
	皿ドリルネジ小頭4×40	皿ドリルネジ4×16			
					

ご用意して頂く工具類

☐ 充電式ドライバー・電気ドライバー・プラスビット2番

☐ 巻尺・水平器・カッター

☐ 電気ドリル・Φ3.5ドリル

☐ シーリング材・シーリングガン

☐ 切断機

(その他必要に応じて工具、資材を用意してください)

■ 3 部材の確認

1. 板材の確認

- ・ 板材の種類を確認してください

< 板材の種類 >

寸法 . . . 長さ: 997mm 巾: 145mm 厚み: 20mm

種類 . . . 中間用<J-J>

端部用<E-J><J-E>

「通常用」「上段用」

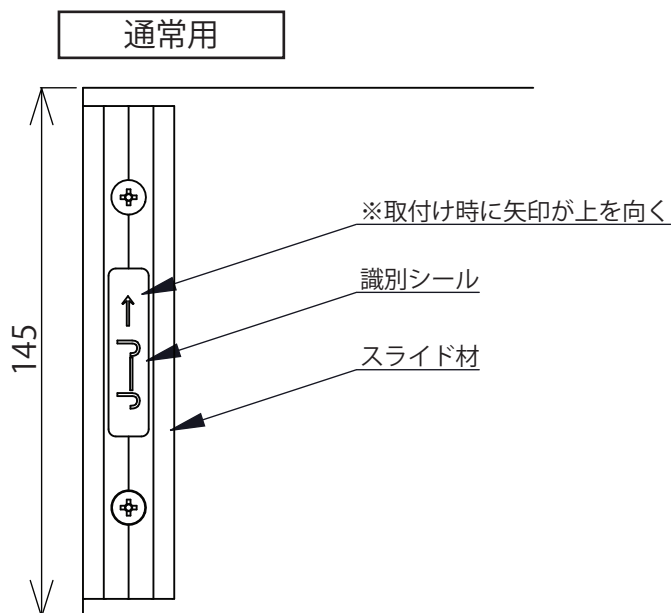
(スライド材の長さによって区別しております)

ポイント

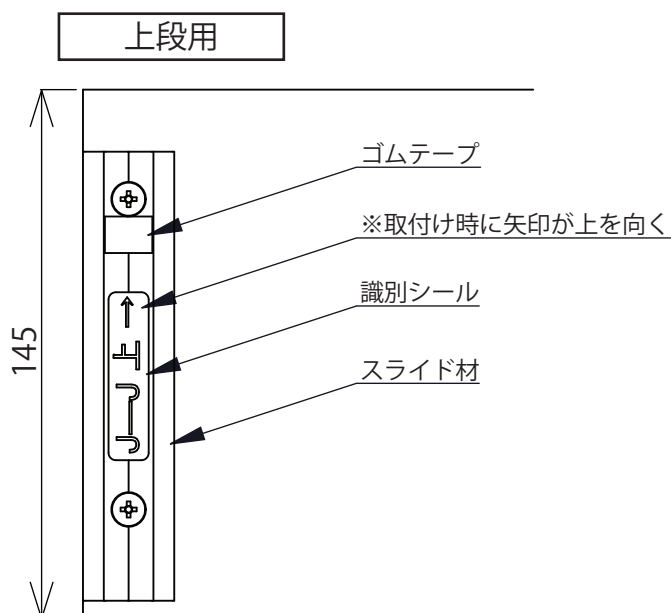
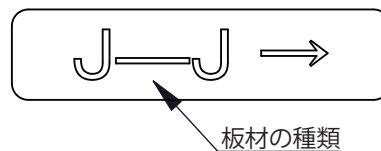
※ 識別シールはスライド材に貼付されています

※ 板材を取付ける際は識別シールの矢印が上を向くように取り付けてください

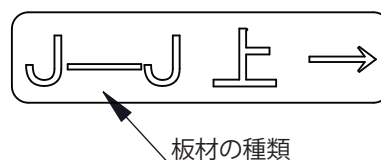
※ 板材には通常用と上段用がございます、取付けの際は注意してください



○通常用 識別シール

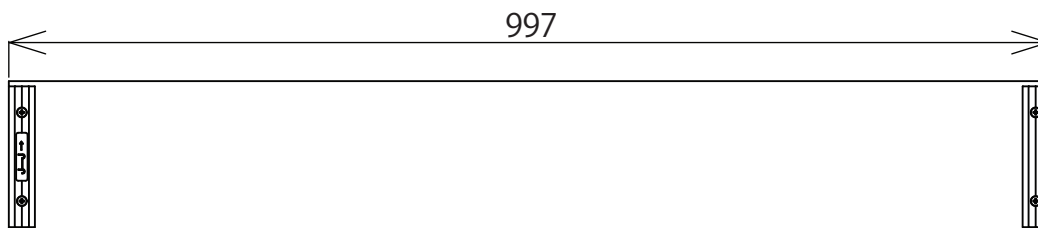


○上段用 識別シール

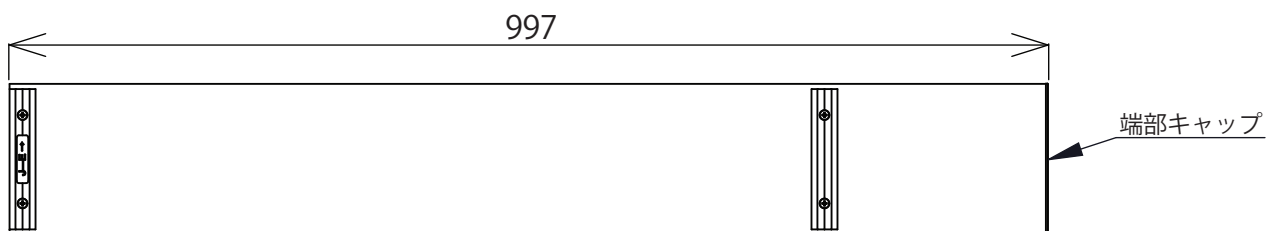


通常用

○中間用＜Ｊ－Ｊ＞



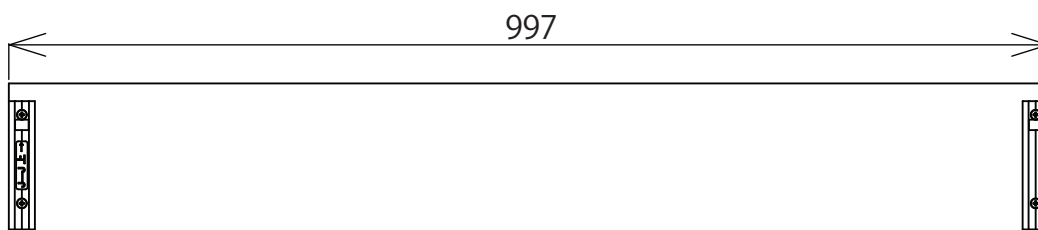
○端部用＜Ｊ－Ｅ＞



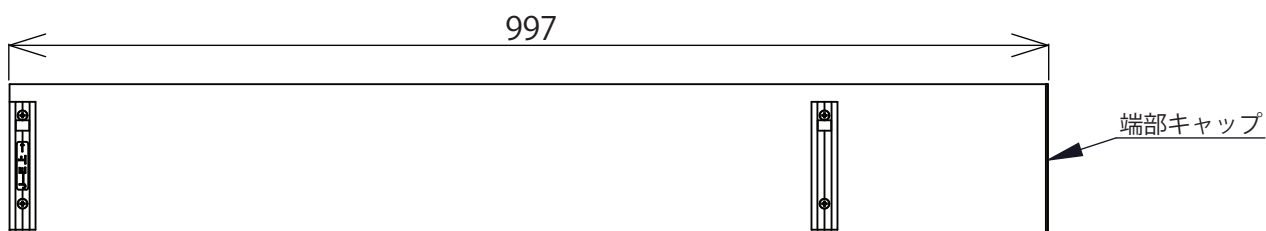
※＜Ｅ－Ｊ＞は左右対称です

上段用

○中間用＜Ｊ－Ｊ＞



○端部用＜Ｊ－Ｅ＞



※＜Ｅ－Ｊ＞は左右対称です

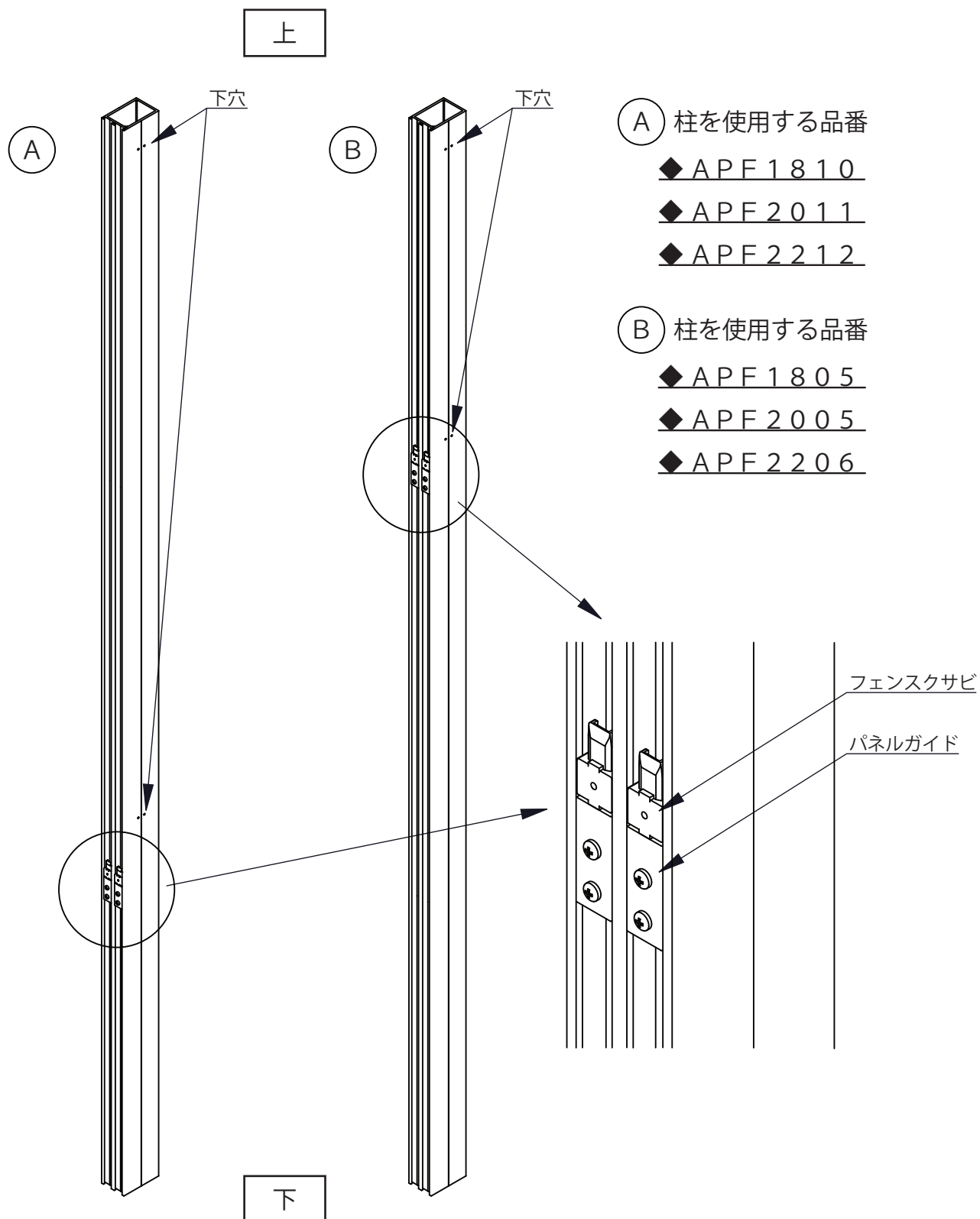
■ 4 柱の設置

1. 柱の確認

- ・ 柱の上下を確認してください

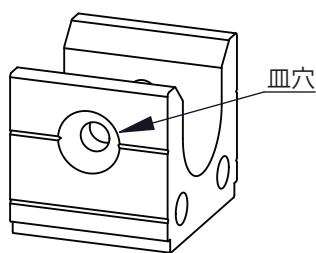
🔍 ポイント

※ 下穴は中間柱が両側面、端部柱が J 側面に開いています
※ パネルガイドとフェンスクサビはついてきます



2.横棧ブラケットの取付

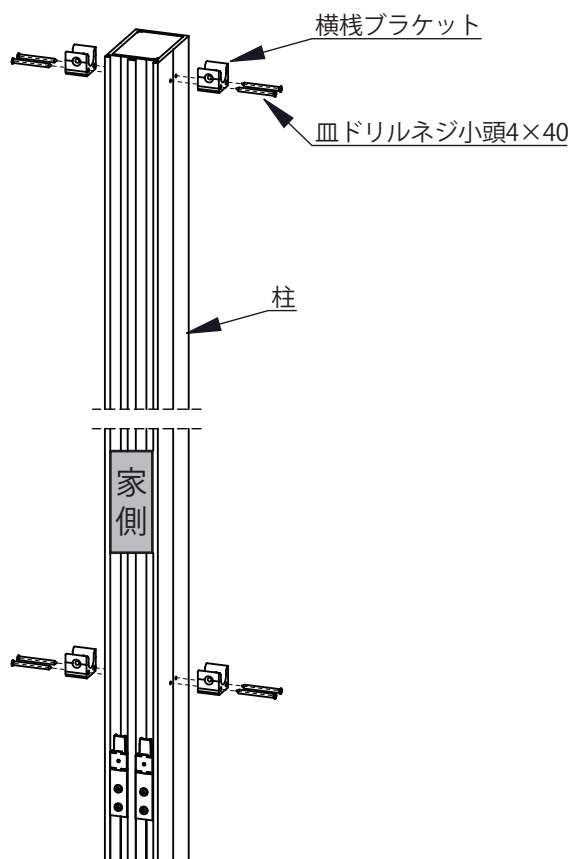
- ・柱の下穴に、皿ドリルネジ小頭4×40で横棧ブラケットを取り付けてください



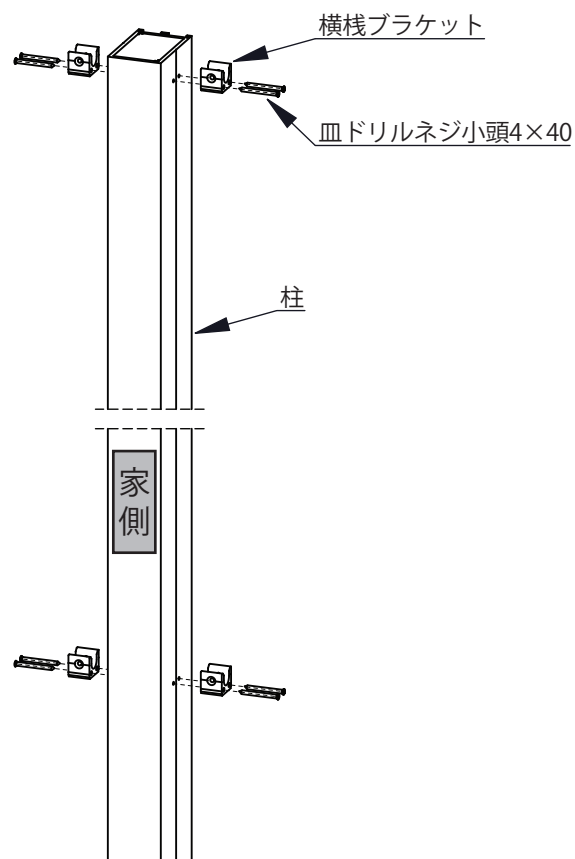
横棧ブラケット

ポイント

- ※中間柱は両側面、端部柱はJ側面に取り付けてください
- ※横棧ブラケットの皿穴の方向を合わせてください
- ※皿穴が家側に向くように取り付けてください



<板材を家側に取り付ける場合>



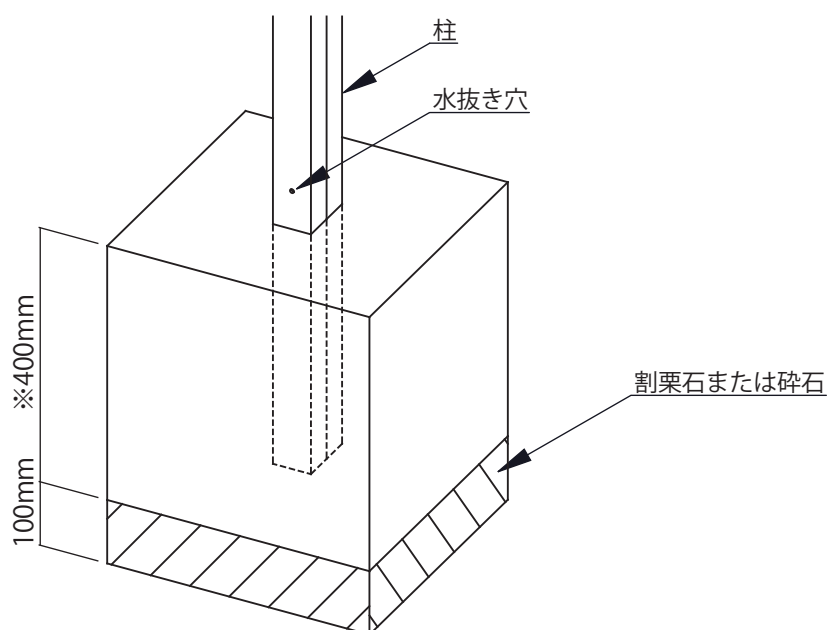
<板材を家と反対側に取り付ける場合>

3.基礎の掘削

- ・ 寸法図を参考に柱基礎用の穴をあけてください →P.2 2

⚠注意

- ※掘削時に給水配管やガス管などの埋設物に注意してください
事故やケガにつながるおそれがあります
- ※基礎底部に割栗石や碎石を敷き詰め、突き固めてください
地盤が不安定になることで製品の不具合につながるおそれがあります
柱内に入った水がたまり、柱が凍結破損したり腐食につながるおそれがあります
- ※基礎の寸法は指定寸法以上で施工してください →P.2 2
地盤の支持力が得られず、製品の沈下や風、衝撃により転倒につながるおそれがあります



🔍ポイント

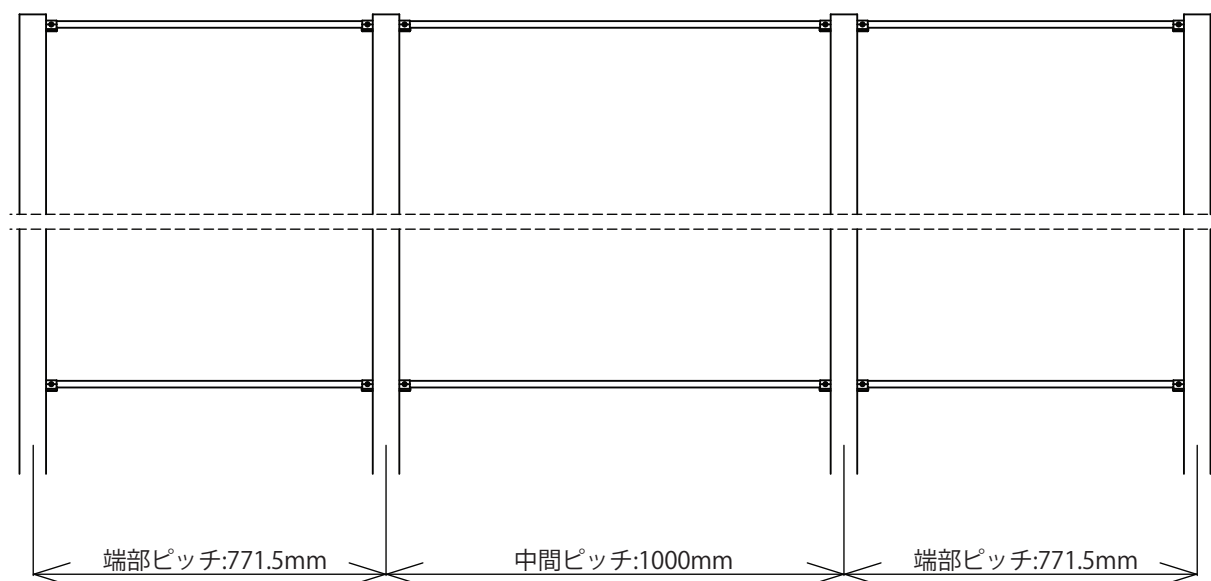
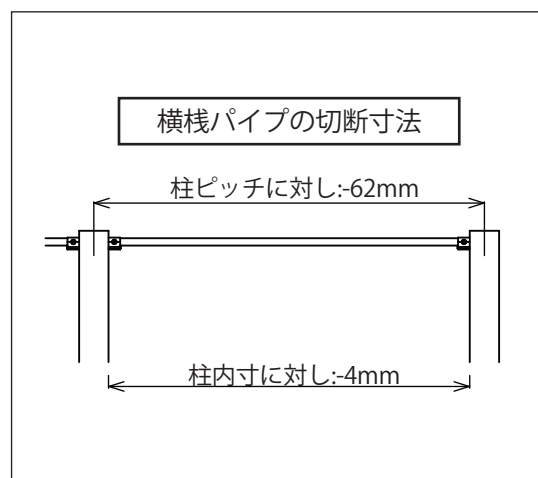
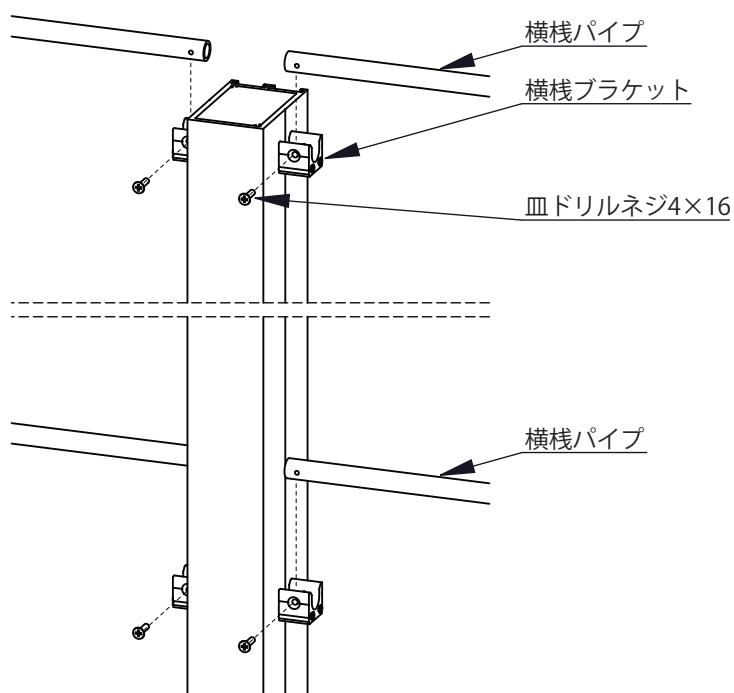
- ※基礎高400mmは地耐力100kN/mm²以上を限定とします
- ※フリー板材を使用する場合は寸法図を参考に柱基礎用の穴をあけてください →P.2 2

4.横棧パイプの取付

- ・柱を基礎用の穴に立ててください
- ・横棧ブラケットに、皿ドリルネジ4×16で横棧パイプを取り付けてください

ポイント

- ※柱ピッチを確認し取り付けてください
- ※図に記載されている端部ピッチは規格寸法です
- ※フリー板材を使用する際は柱ピッチに合わせ、横棧パイプを切断し取り付けてください
切断面が斜めにならないよう注意してください



5. 板材の取付

- ・各ピッチごとに通常用の板材を1枚取り付けてください → 板材の確認 P.6
- ・柱の溝に板材のスライド材を差し込み取り付けてください
- ・フリー板材を使用する場合はスライド材を取り付けてください → P.18

⚠ 注意

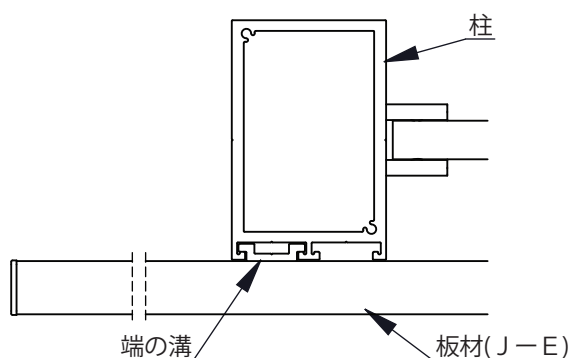
※板材を取り付ける際は勢いよく落とさないでください
フェンスクサビの破損や、板材の破損につながるおそれがございます
最後まで手に持ち、ゆっくりと下げて取り付けてください

🔍 ポイント

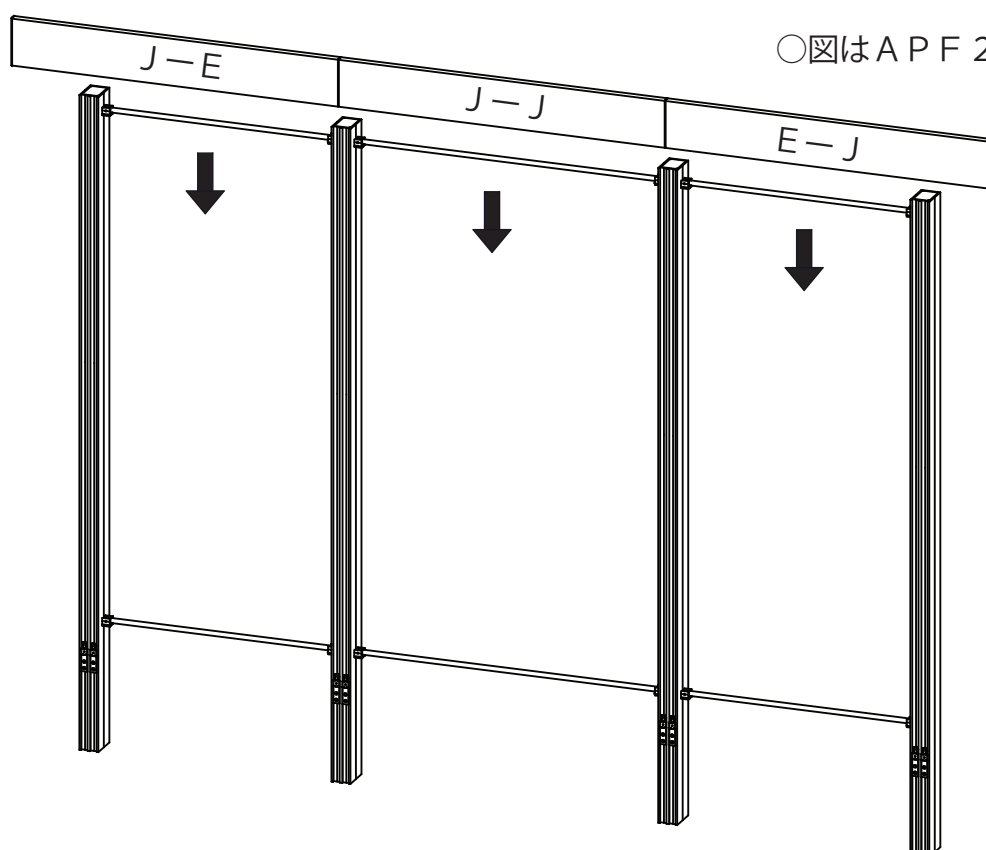
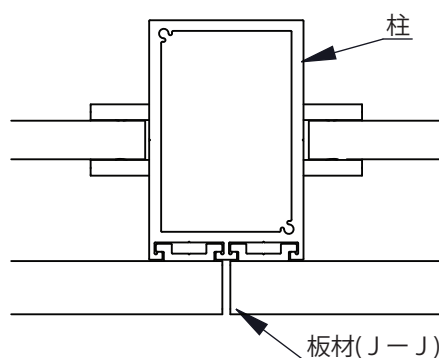
※板材が入りづらい場合は上の横桟を取付けたネジを片側緩ませてください
※板材どうしの目地は3mmを基準としてください
※差し込む溝の位置に注意してください
端部側は外側の溝に差し込んでください
※板材を差し込む際は板材を水平にし行ってください

端部

※反対側も同様に外側の溝



中間



○図はAPF2011です

5.柱の設置

- ・柱の間隔、水平、垂直、出入りを確認してください
- ・柱基礎用の穴にコンクリートを打ち込んでください

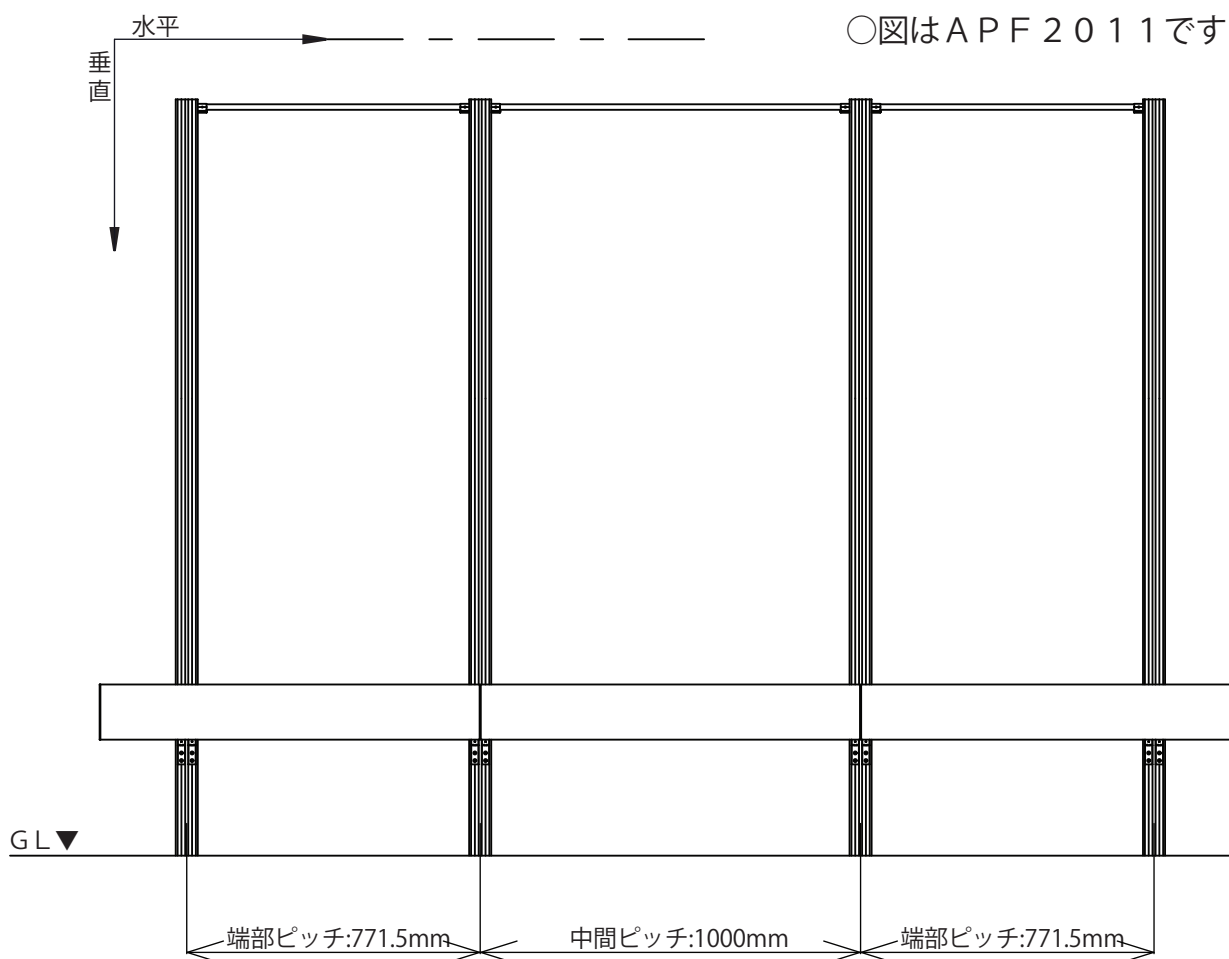
△注意

※コンクリートまたはモルタルには、塩分を含む砂及び塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混合材（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください
アルミの腐食や製品の破損につながるおそれがあります

※柱を立ててからコンクリートやモルタルを打ち込んでください
柱内に水がたまり、柱が凍結破損したり腐食につながるおそれがあります

※コンクリートやモルタルの強度が十分になるまで、過度な衝撃や荷重を与えないでください
基礎の強度低下につながるおそれがあります

※打ち込み時に水抜き穴を塞がないでください
柱内に水がたまり、柱が凍結破損したり腐食につながるおそれがあります
塞がった場合は水抜き穴をあけ直してください



<柱は垂直にかつ、間隔を正確に設置してください>

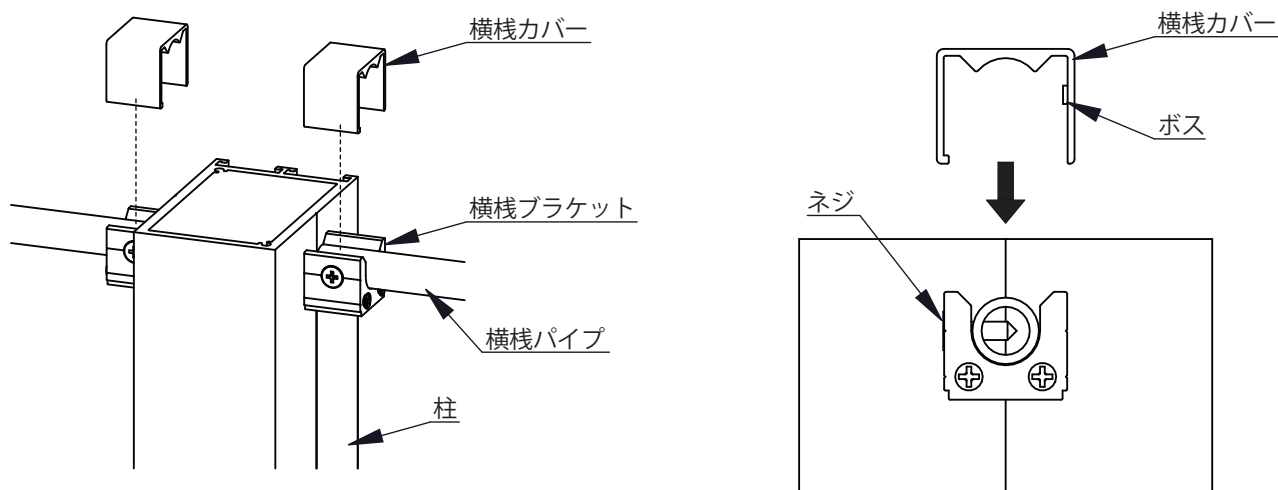
■ 5 板材の取付

1. 横棧カバーの取付

- 全ての横棧ブラケットに横棧カバーを取り付けてください

🔍ポイント

- ※横棧カバーのボスがネジ側に向かないように取り付けてください
- ※一度取り付けると外すのが困難です 柱ピッチを確認してから取り付けてください

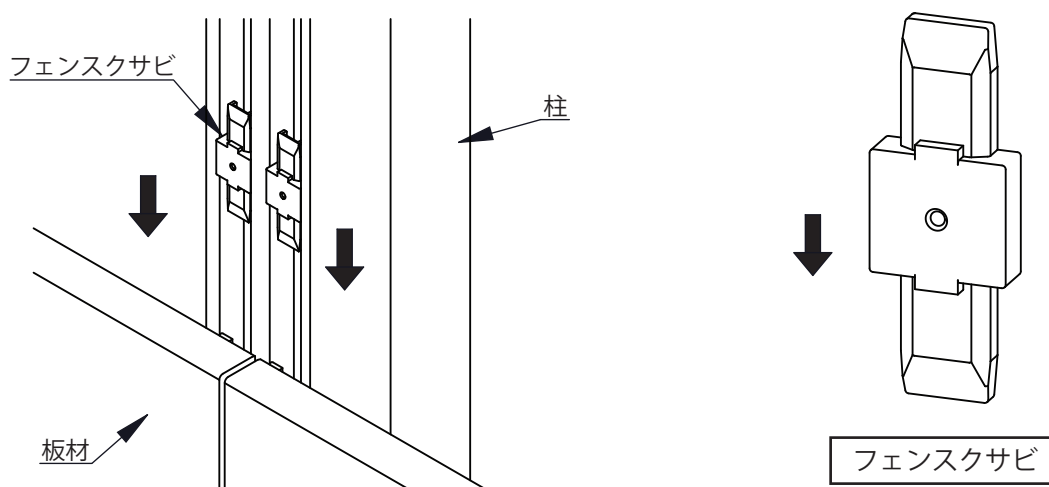


2. フェンスクサビの設置

- 「P.12」で取り付けた板材のスライド材にフェンスクサビを差し込み設置してください

🔍ポイント

- ※フェンスクサビが差し込みづらい場合は板材と柱に隙間をあけるように板材を引きながら差し込んでください
- ※フェンスクサビの設置はスライド材を差し込んだ側の溝になります
- ※フェンスクサビに、上下はありません



3. 板材の取付

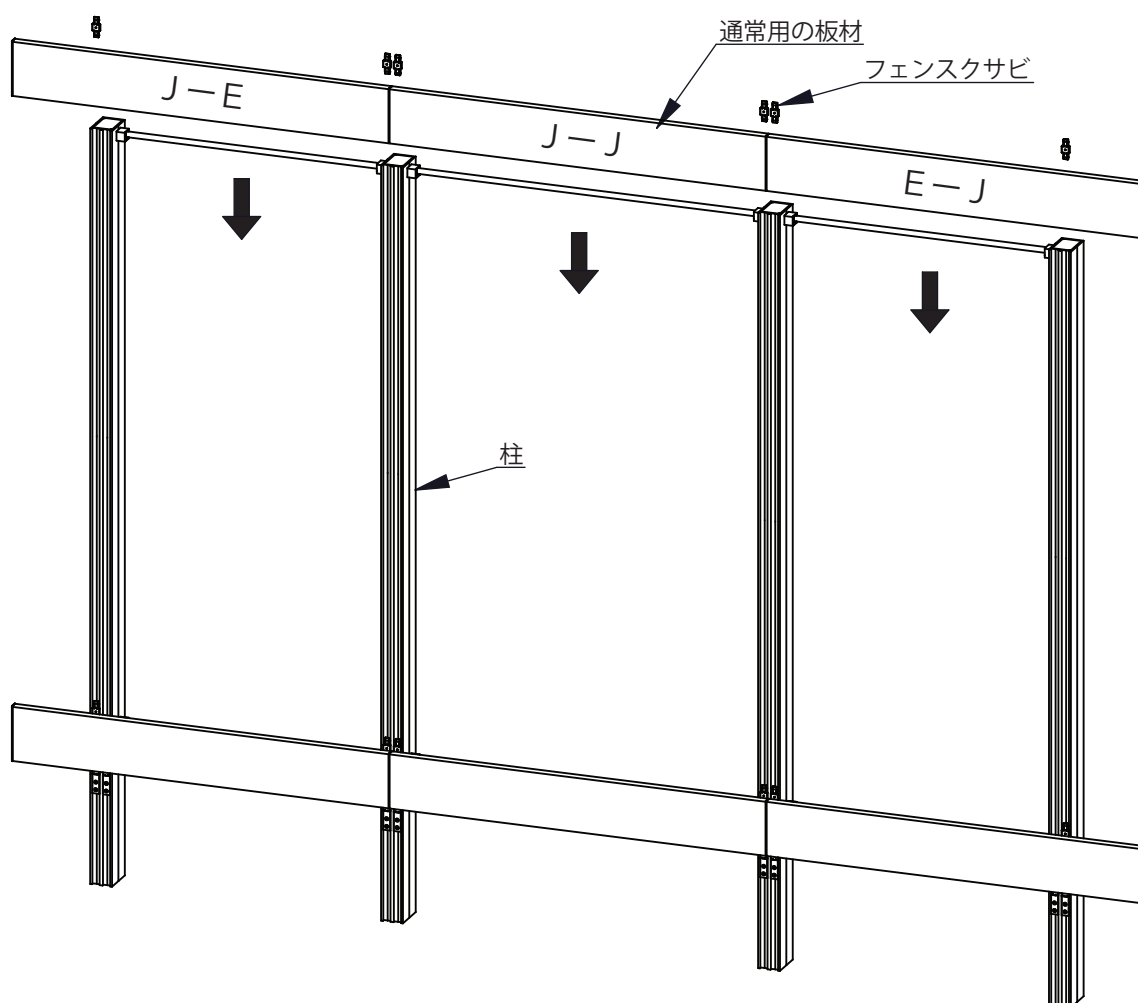
- ・各ピッチごとに2枚目の通常用の板材を、柱に差し込み取り付けてください
- ・「P.14」と同様にフェンスクサビを差し込み設置してください
- ・板材の取付手順は上記の繰り返しになります
- ・上段用の板材を残し全て取り付けてください → 板材の確認 P.6

△ 注意

※ 板材を取り付ける際は勢いよく落とさないでください
フェンスクサビの破損や、板材の破損につながるおそれがございます
ゆっくりと下げて取り付けてください

🔍 ポイント

※ 板材の種類に注意してください
※ 上段用は各ピッチに1枚ずつです
※ フリー板材を使用する場合はスライド材を取り付けてください → P.18
※ 板材を差し込む際は板材を水平にして行ってください

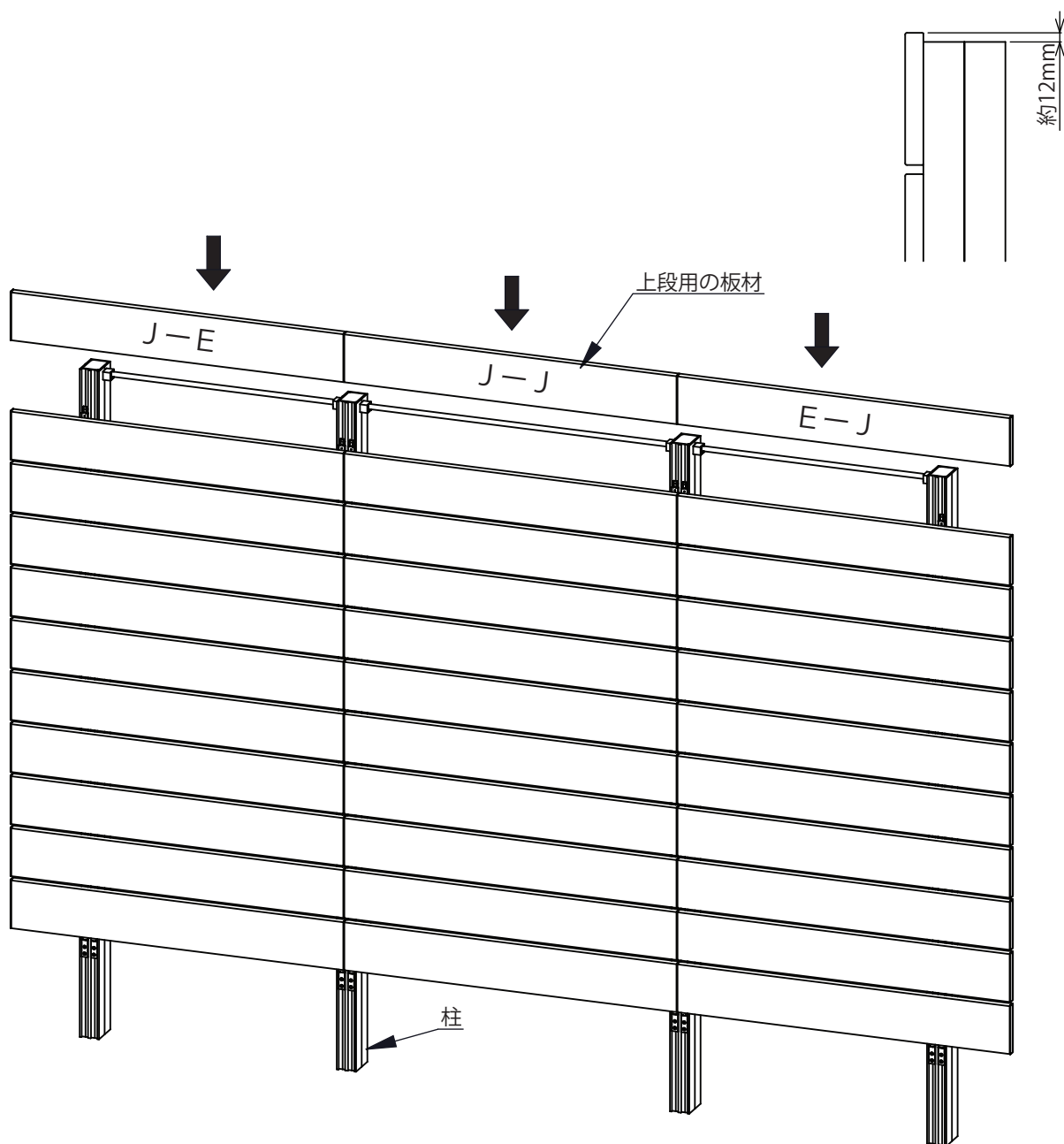


4. 板材の取付

- ・ 上段用の板材を取り付けてください → 板材の確認 P.6

ポイント

- ※ 板材の種類に注意してください
- ※ 上段用は各ピッチに1枚ずつです
- ※ 上段用はスライド材が短く、音鳴り防止が貼られています
- ※ 差し込みづらい場合は、ゴムテープを潰すように圧迫してください



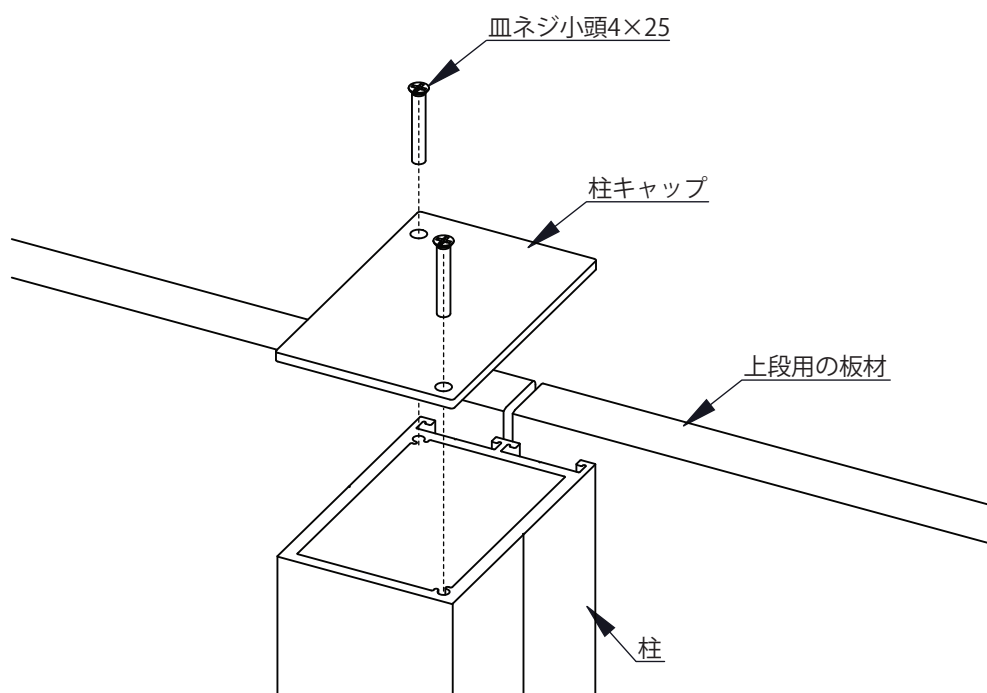
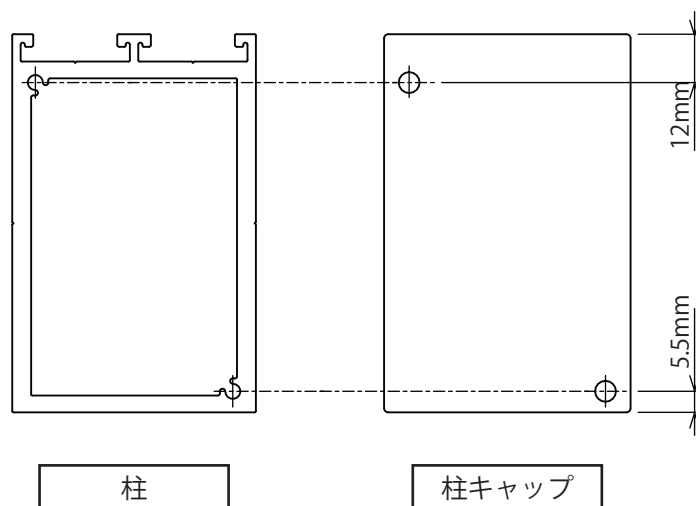
■ 6 柱キャップの取付

1. 柱キャップの取付

- 全ての板材を取り付けたら、柱の天面に皿ネジ小頭4×25で柱キャップを取り付けてください

ポイント

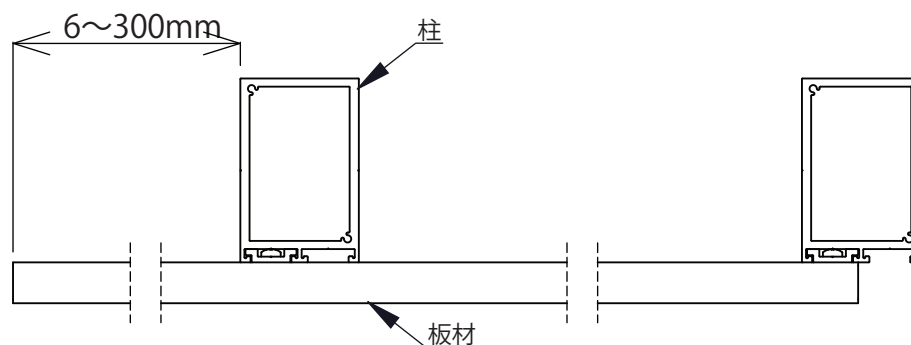
※柱キャップには前後があります、取り付けの際は注意してください



■ 7 フリー板材の加工・組付

1. 切断寸法の確認（切断加工する場合）

- ・ 寸法図を参考に板材を切断する寸法を割り出してください → P.22
- ・ 板材に切断する寸法でケガキを行ってください



2. 板材の切断（切断加工する場合）

- ・ 1 で決めた寸法で切断加工してください
- ・ 切断した小口は付属の補修塗料で塗装してください

⚠ 注意

※切断面が斜めにならないように切断加工してください
外観不良につながるおそれがあります

🔍 ポイント

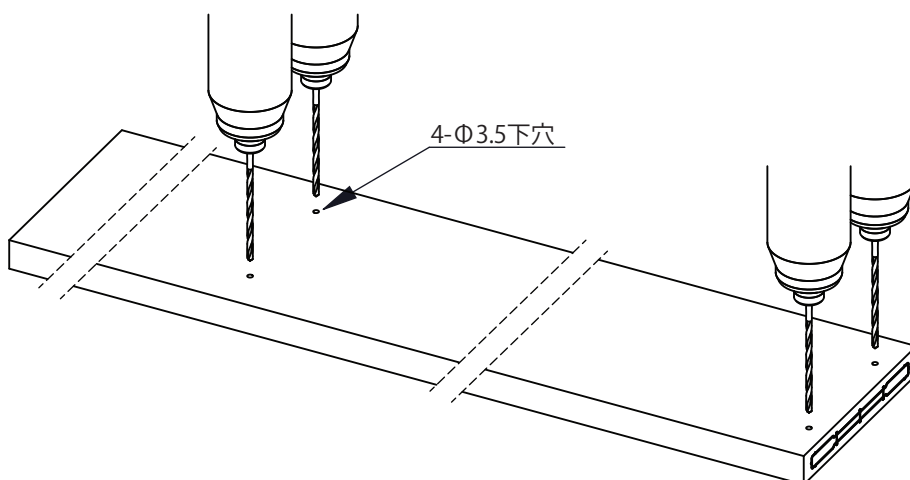
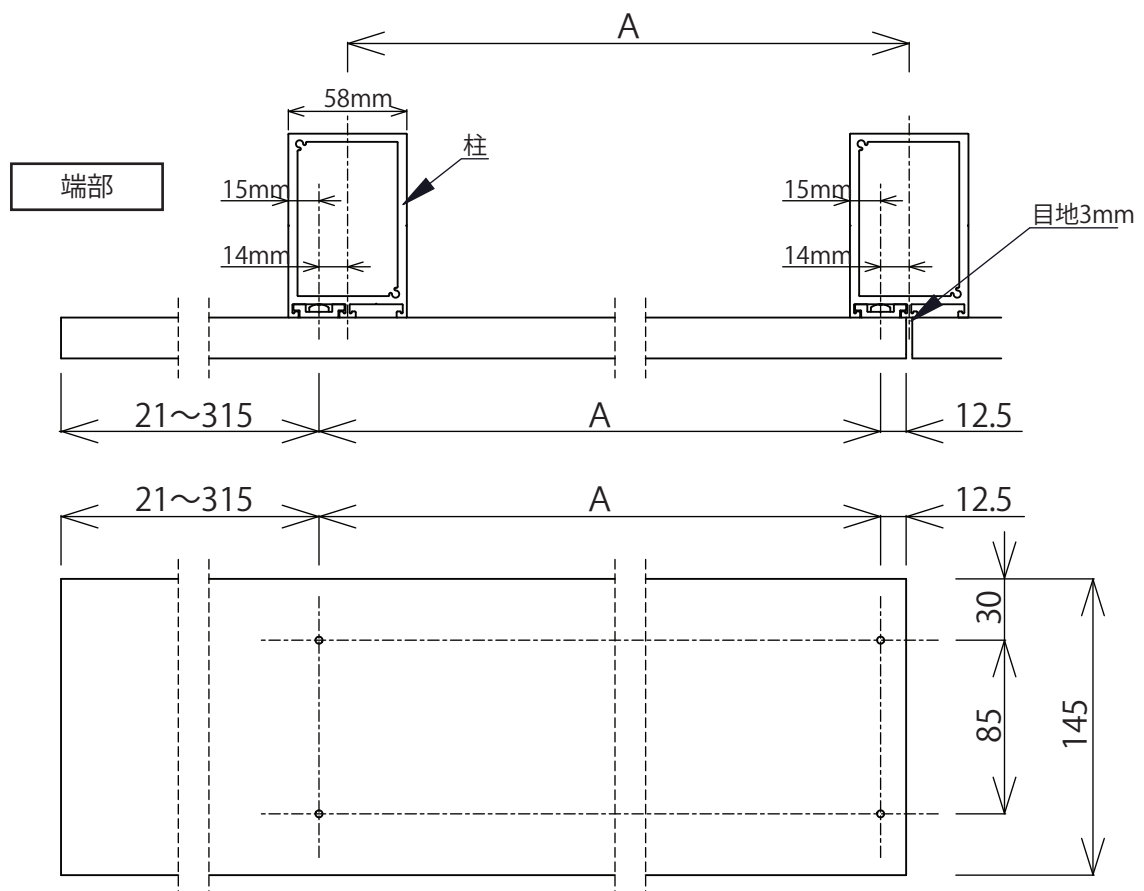
※切断時に意匠面に傷がつかないよう注意してください
※切断後は芯材内の切り粉を充分清掃してください
※塗装の際に意匠面にはみ出ないように注意してください
はみ出した場合は速やかに拭き取ってください

3. 下穴加工

- ・ 下記図でスライド材を取り付ける位置を割り出してください
- ・ 割り出した位置にケガキを行ってください
- ・ ケガいた箇所にΦ3.5で下穴加工を行ってください
- ・ 下穴の深さは、10mm程度(芯材の片側に穴があく)としてください

ポイント

- ※ 下穴径はΦ3.5以下で加工してください
- ※ Φ3.5の下穴は貫通しないように注意してください

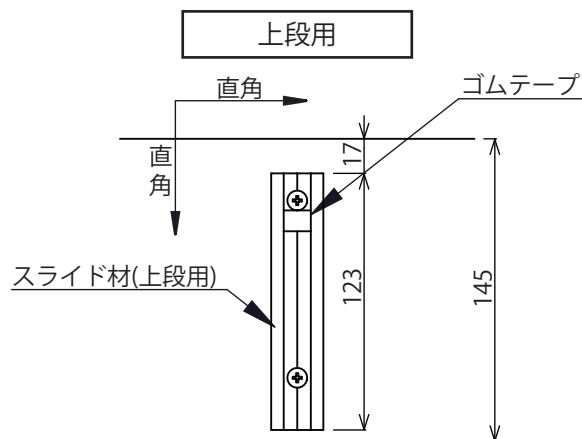
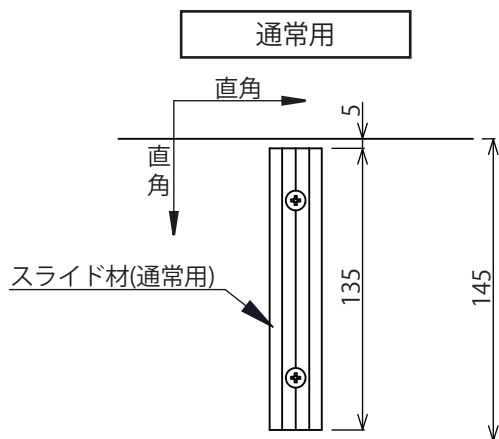
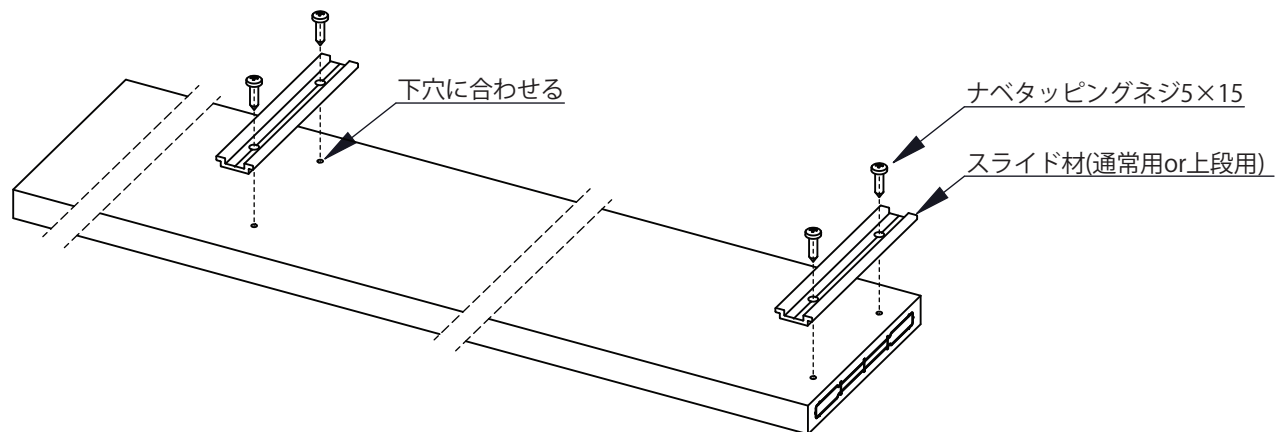


4.スライド材の取付

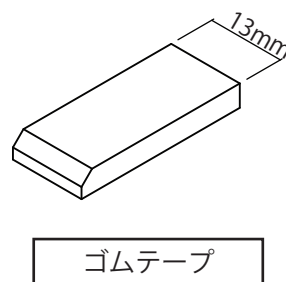
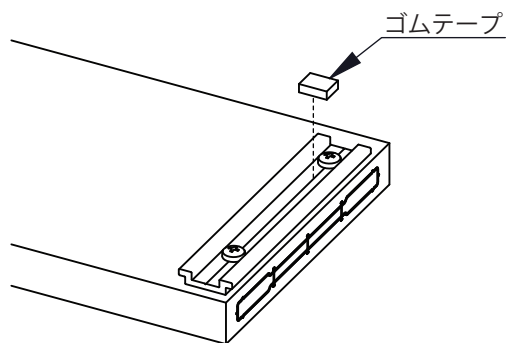
- ・下穴に合わせ、ナベタッピングネジ5×15でスライド材を取り付けてください

ポイント

- ※ネジは打ち込み過ぎないでください
- ※取付寸法に注意してください
- ※スライド材は板材に対し直角に取り付けてください
- ※上段用のスライド材には上下があります



- ・上段用板材の両方のスライド材にゴムテープを貼り付けてください
- ・ゴムテープは10mm程度に切断し貼り付けてください



5. 端部キャップ取付

- ・ 板材の端部側小口内に、シーリング材を充填し端部キャップを取り付けてください

ポイント

- ※シーリング材を充填する前に板材小口面の汚れ等を充分に取り除いてください
- ※シーリング材がはみ出ないように注意してください
- ※はみ出した場合や意匠面に付着した場合は速やかに拭き取ってください
- ※端部キャップのツメにシーリング材が充分に接着するよう充填してください
- ※シーリング材が固まるまで養生テープ等で留めてください

端部キャップ

ツメ

